

近藤通信



公明党千葉市議会
議員団 議会報告
No.63
2016年 春号

平成28年第1回定例会報告

会派の代表質疑で市長・副市長等の答弁が行われました。
以下、近藤ちず子議員が担当した項目・内容について報告します。

質問項目

副市長・教育長 答弁

◎障がい者差別解消の推進について

・本年4月に制定される「障害者差別解消法」は障がいがあるという理由で入店を拒否されるなどの「いやな思い」をする障がい者を減らし「ちょっとした配慮」を増やしていくことを目的に制定されると承知している。

千葉市においても市民への周知を含め、積極的な取り組みを期待している。どのような計画で準備を進めているのか、取り組みについて問う。



◎学校施設の環境整備について

・平成9年から27年度にかけて市内全小中学校で耐震改修が完了したと理解している。

一方で、子ども達からの要望を多く耳にするトイレの改修は進んでおらず、学校施設の老朽化等、更なる環境改善の要望も伺っている。

今後の財政需要の見込みをふまえ、学校施設の環境改善事業に関する考え方、計画について問う。

更に、普通教室のエアコン設置について、今後の検討の進め方について問う。



・平成25年度に障害者を対象に行った市内の実態調査では障害と障害者に関する理解の不足が課題となっています。

・障害者差別の解消にむけ、職員の「対応要領」を策定すると共に、障害者専用の相談窓口設置の準備をしています。

・市民への広報啓発については、市のホームページに関連情報を掲載するとともに今後も障害者団体との連携を通じて、障害に対する正しい理解の普及・差別の解消に取り組んでまいります。



・校舎等の耐震化完了後は先送りとなっているトイレ・床・給食室の改修等の環境改善を老朽化対策とともに優先的に実施してまいります。

・特にトイレの現状改善に向けては、便器の様式化や湿式床のドライ化に加え、明るく衛生的で生徒が使いやすいものとなるよう、平成27年度より計画的に進めてまいります。財政需要は今後15～20年で約105億円の見込みです。

・普通教室のエアコン設置については、教育や健康面への影響やコストを提示したうえで、市民や有識者の意見を十分聴取し、必要性を見極め、適切な判断をして参りたいと考えています。

市政運営のための
平成28年度予算決まる

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	4004億円	2.6%増
特別会計	4368億2000万円	6.2%減
合計	8372億2000万円	2.2%減



お約束した公約が実現します！



地域包括ケアの推進

- ◎在宅医療・介護連携
- *在宅医療介護対応薬剤師を認定する制度の創設
- *在宅医療・介護の資源調査の実施（現況の調査および在宅療養者を推計）
- *認知症初期集中支援チームの増設

健康づくりの推進

- ◎子宮がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券の配布
- ◎ピロリ菌（胃がんとの因果関係が判明している）検査の試行実施に向けた準備



不妊治療の助成が拡充!!

特定不妊治療費助成



- ・男性不妊治療費の助成開始 ⇒ 1回あたり上限15万円
- ・**初回**助成上限額の増額：15万円 ⇒ 30万円

助成対象者

：平成28年1月20日以降に治療が終了した方
条件の詳細は市のホームページ参照

助成申請

：開始時期 平成28年2月15日（日）
：申請場所 各区保健福祉センター健康課



皆さんの声を実現します！

墓地事業の推進

◎平和公園墓地（A地区）の整備
新形態墓地の導入に係る、
基本設計の見直し、立木伐採

あすみが丘消防出張所の 新設

◎基本設計
現況測量



おゆみ野駅にエレベーター設置

◎交通バリアフリー法を基に、
平成29年度の予定だったエレベーター
設置が国の予算の前倒しで今年度中に
整備されます！！



<<市政の相談>>

市政に関するご意見・ご要望を
お聞かせ下さい

近藤

TEL/ FAX 264-5956

http://www.komei.or.jp/giin/chibacity/kondo_chizuko/